

それぞれに異なった特徴のある結果が得られました。それはマルテンサイト変態の非常に初期の段階とも考えられるようなものでした。試料の中の一部に、低温でのみ現れる格子のひずみが原因であると考えられ、しかもそのひずみの種類なども特定することができました。

しかし、このような結果が得られたとは言え、長時間かけても2次元マップで見れば荒っぽいもので、より精密な測定を行うには、とんでもない時間を必要とすることになります。そこで、これらの試料についてSRを利用する計画を立てています。しかし、自分だけでは実施困難なので前田さんのグループでいっしょに手がけて行こうと思っています。

余分ですが、ギョームのインバー合金発見からちょうど1世紀になります。メタロジの分野でのノーベル賞受賞はこれが唯一だそうです。100年記念シンポジウムを機にインバーの研究が再び活発になり、さらにメタロジの基礎研究にSRがその威力を発揮して行くことを期待しております。

事務局からのお知らせ

◇世話人変更について

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ☆A-4 散漫散乱サブグループ | 大嶋 建一 (筑波大学・物理工学系) |
| ☆A-5 非弾性散乱サブグループ | 田中 良和 (理化学研究所・磁性研究室) |
| ☆C-3 タンパク質結晶学グループ | 森本 幸生 (姫路工業大学・理学部) |

以上の3サブグループの世話人に変更がありました。

◇SPring-8利用者懇談会事務所移動

事務局を含む利用業務部のSPring-8のリング棟内での移動が7月半ばにあり、リング棟のA棟「共通室A2-1」に移動しました。リング棟を一周する道路側の部屋で、大きな窓ガラスに「JASRI」と大きく書いてあるすみっこに「SPring-8 Users Society」と表示してありますので、こちらに来られた際にはぜひお立ち寄りください。